



トイレに行くほど大分♡

由布高生発案ペーパー

商品化の報告に訪れた由布高生ら＝由布市役所



【由布】由布高(由布市庄内町大龍)の生徒が発案した「トイレに行けば行くほど大分が好きになるトイレトペーパー」が商品化されることになった。ロール紙に県内にまつわる9種類の絵柄や文章が印刷されており、「思わず買いたくなる大分の新しいお土産」にしようと思いを絞った。2月初旬から国東市の大分空港での限定販売を予定している。



由布高生の発案で商品化されたトイレトペーパー

発案したのは3年生の佐藤こはるさん(18)ら5人。2年時の授業で、手に取るたびに県内情報が得られるトイレトペーパーがあると面白く考えた。商品は「大分市には野生のニホンザルだけがいる動物

園がある」「湯布院?由布院?大分県民でも違いがよくわからない」「おんせん県なのに豊後大野市に温泉はない」でもサウナのまじろどといつた各地のエピソードとイラストを載せた。

商品化が実現。価格は350円の予定。27日には、生徒や星野社長らが由布市役所を訪れ、橋本洋一教育長に完成を報告。橋本教育長は「素晴らしいコンセプト。ヒット商品になるといい」と期待。佐藤さんは「みんなで作えたものが形になりうれしい。県内のことを知ってもらうきっかけになれば」と話した。(池田美香)

「新しい土産に」 空港で販売へ



〔問①〕 高校生が発案したトイレトペーパー。トイレに行けば行くほど、どうなりますか？

〔問②〕 ロール紙には9種類の絵柄や文章が印刷されています。例えば？

〔問③〕 トイレトペーパーに書く文章を、あなたも考えてみよう。